

職場環境等要件(令和7年度以降の要件)

令和7年度以降に新加算ⅠからⅣまでのいずれかを算定する場合は、別紙1表4-1に掲げる処遇改善の取組を実施すること。

<ul style="list-style-type: none"> ・区分ごとにそれぞれ2つ以上取り組んでいること(生産性向上は3つ以上※⑩は必須) ・情報公表システム等で新加算の算定状況を報告するとともに、職場環境等要件を満たすために実施した取組項目及びその具体的な取組内容の公表必要
--

職場環境等要件		当法人の取り組み状況	
(1) 入職促進に向けた取組	① 法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	○	・労務管理・人材育成検討会議を開催し議事録を公開 ・方針など重要なことは職員会議で説明 ・理事会資料を電子ブックで職員にも公開
	② 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	×	
	③ 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築(採用の実績でも可)	○	・DEI宣言に基づき、幅広い採用を実践 ・中途採用毎年実績あり
	④ 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	○	・インターンシップを開催 ・職業魅力向上のセミナーに講師として発表
(2) 資質の向上やキャリアアップに向けた支援	⑤ 働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等	○	・資格取得支援制度あり ・試験日の勤務シフト配慮 ・福祉士資格手当あり ・強度行動障害支援者養成研修は正規生活支援員全員必須(勤務で研修参加・費用法人負担) ・非正規職員にも希望者を募り研修参加の機会提供
	⑥ 研修の受講やキャリア段位制度等と人事考課との連動によるキャリアサポート制度等の導入	×	・キャリア段位制度なし
	⑦ エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入	○	・1年間のプリセプターあり
	⑧ 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	○	・上席者と半年に1度面談の機会あり ・国のキャリア形成リスキリング推進事業を利用し、キャリアコンサルティング実施
(3) 両立支援・多様な働き方の推進	⑨ 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	○	・国の基準を上回る両立支援制度あり
	⑩ 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	○	・短時間正規職員制度あり ・正規職員転換制度あり
	⑪ 有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標(例えば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得)を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけ等に取り組んでいる	○	・取得率100%を目指す ・毎月取得率を掲示板にアップし、取得を促し、取得率98.3%(2024年度)
	⑫ 有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消に取り組んでいる	○	・DX推進による情報共有 ・複数担任制による業務属人化の解消
	⑬ 障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮	○	・本人の希望を重視 ・定期的にフォロー面談を行い、課題抽出と対策を講じている。

(4) 腰痛を含む 心身の健康 管理	⑭ 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	○	・リクラブに加入 ・各種相談窓口あり
	⑮ 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	○	・週20時間以上を健診の対象 ・ストレスチェックも同様 ・休憩室あり ・「健康ファミリー青谷学園」を提唱し様々な健康対策実施
	⑯ 福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援やリフト等の活用、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	○	・腰痛予防対策チームによる活動 ・始業時の腰痛体操及びラジオ体操必須 ・青谷学園には介護リフト、パワーアシストスーツ等あり
	⑰ 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	○	・事故・トラブル対応のマニュアル整備及び訓練実施
(5) 生産性向上 (業務改善及び働く環境改善)のための業務改善の取組	⑱ (必須)現場の課題の見える化(課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等)を実施している	○	・管理職会議等で課題の見える化をし、内容を提出すること ■青谷学園 ・職員へ現場の課題についての聞き取りアンケートを実施 ・アンケート結果から意見の多かった「シート交換」について時間が掛かることと、身体的負担の軽減について検討 ・既存の方法では1部屋約5分30秒かかり、マットレスを持ち上げることに身体的負担がある ・マットレスリフター(ベッドメイキングツール)を導入し、1部屋約4分30秒へ短縮 ・マットレスを持ち上げないことによる身体的負担を軽減 ■DO ・各担当業務の職員に次年度の活動計画を立ててもらい、運営する ➡活動内容を見える化し、職員全員で共有し協同する ・スプレッドシートが月ごと・全体・支援・医務ごとの作成にて行っているが、情報が埋もれてしまうので、全体・支援・医務を1枚のシートにまとめる ・毎月行う支援ミーティング内で、男女それぞれの課題をピックアップし、話し合う場を設ける ➡課題の抽出はスプレッドシートから、課題の構造化はカテゴリー分けをする。業務調査は支援ミーティングにて行う
	⑲ 5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備を行っている	○	・啓発ポスターの掲示 ・サービス向上委員会を中心に5Sに取り組む ・衛生委員による定期職場巡視
	⑳ 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	○	・全職員スマホ貸与によるDX推進で、情報共有及び作業負担軽減を行っている
	㉑ 業務支援ソフト(記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。)、情報端末(タブレット端末、スマートフォン端末等)の導入	○	・全職員スマホ貸与によるDX推進で、携帯から記録などを入力し、請求まで一気通貫で効率化を図っている
	㉒ 介護ロボット(見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等)又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器(ビジネスチャットツール含む)の導入	○	・様々な介護ロボットを導入し、職員の負担軽減している ・インカムやLINEWORKSを活用し、連絡調整を迅速化している

	②③ 業務内容の明確化と役割分担を行い、福祉・介護職員が支援に集中できる環境を整備。特に、間接業務(食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等)がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う	○	<ul style="list-style-type: none"> ・非正規職員を有効に活用し、業務分担を行っている ・DOでは食事の調理を外部委託業者が行っており、準備の手間は軽減されている。
	②④ 各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTインフラの共通化 ・人事管理や福利厚生システムの共通化 ・各種指針の共同策定
(6) やりがい・働きがいの構成	②⑤ ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議の前にアイスブレイクを導入し意見の出しやすい会議運営の実施 ・全職員会議を月に1回実施しコミュニケーションの円滑化を図っている
	②⑥ 地域社会への参加・包容(インクルージョン)の推進のための、モチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	○	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の支援学校との協力関係を構築し、職場体験の積極的な受け入れを実施(城陽支援学校のビルクリーニング等) ・フードセンターとして京都部南部各地の子ども食堂と積極的に関わり、関係構築を図っている
	②⑦ 利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	○	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の理念を浸透させる会を立ち上げ、「理念で紡がれる物語～風吹けば笑顔輝く～」と題した法人理念に沿ったエピソード集を作成して開示している。 ・サービス向上委員会において、常に利用者本位の支援について検討を行っている
	②⑧ 支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の好事例は AODANI 3Q 大会を通じて職員間で共有している。 ・利用者、家族へのアンケート実施と回答の回覧 ・ご家族様からの謝意は職員会議にて共有している